

# 半田赤レンガ倶楽部ニュース

第2号 1999年9月1日発行

## ご無沙汰しました！

一年ぶりの会報です。会員の皆様にはずいぶんご無沙汰してしまい、申し訳ありません。

(全国組織の赤レンガネットワークの会報「輪環」も送付が滞ってしまい、ごめんなさい)

決して活動を放棄したわけではありません。ちなみに現在の会員数は、177名！ 今後ともよろしくご協力ください。今回の会報では、1年間のさまざまな出来事のご報告を中心にお届けします。

## 半田赤レンガ倶楽部の活動

1998年 6月27日：赤レンガ倶楽部会員の集い

今年の会報をご覧ください。

1998年9月27日：半田市民まつりに参加



会員受付風景



生レンガへの彫刻

あいにくの雨でしたが、会報の配布をしてアピールするとともに、愛知県煉瓦組合のご協力を得て、生レンガ（焼く前のレンガ）への彫刻や面白レンガの販売をしました。

1998年10月31日・11月1日：赤煉瓦ネットワーク全国大会（大阪）に参加

阪神大震災で大きな被害を受けて一度は取り壊しも考えられながら、見事に復元された赤レンガの川口基督教会が主会場。全国各地からさまざまなレンガフリークが集まって活動報告をしたり、大阪の近代建築の状況などがお話されました。夜は港の赤煉瓦倉庫を使ったギャラリーで写真展とパーティ。2日目は見学会が行われました。詳しくは「輪環30号」をご覧ください。半田赤レンガ倶楽部からは6名が参加しました。

1998年10月：インターネットに半田赤レンガ倶楽部ホームページ開設

アドレスは<http://www.ipc-tokai.or.jp/~deguchi.redbrick.html>

まだちょっとさびしい内容ですが、今後充実させていきたいと思っております。まずはアクセスしてみてください。

### 1998年10月：大成建設の研究助成金不採択

残念ながら応募していた研究助成金は、競争率が高く、いただけませんでした。今後もまた適当なまちづくり助成に応募していきたいと思います。

### 1998年11月15日：はんだ産業祭りに参加

9月の市民祭りで受け付けた生レンガを焼いたものをお渡ししたり、面白レンガの販売を行いました。

### 1999年7月17,18日：事務局会議合宿

飯田喜四郎先生もご参加いただき、半田赤レンガ倶楽部の事務局会議を開きました。これまでの経緯の確認と今後の方針などをあれこれ話し合い、あとは懇親！翌日は豊浜の鯛祭りを楽しんでから杉本美術館へ。杉本健吉先生の描かれた赤レンガの一連の絵を拝見しました。



面白レンガの販売

以上が半田赤レンガ倶楽部としての活動のおおよその経緯です。

## 旧カプトピール半田工場に関する動き

市役所の方へのヒアリングも交え、カプトピール工場に関する情報を整理しました。

### 1998年3月：「(仮称)赤レンガファクトリーパーク整備基本計画案」答申

2年にわたって「(仮称)赤レンガファクトリーパーク整備計画検討委員会」(検討委員20名、調査研究部会37名)によって検討した結果が、整備基本計画案として市長に答申された。

### 1998年度：「保存修理調査」の実施

赤レンガ建物に残る痕跡や現状の仕様等を詳細に調査し、建物の当初の姿及びその後の修理改変の基礎資料とするために(財)文化財建造物保存技術協会に調査依頼。補強必要部分の詳細やハーフティンバー部に中二階の床がかつてあったことなどが明らかとなる。

### 1998年秋：台風で屋根に被害

9月22日の台風7号と10月18日の台風10号により赤レンガ建物の屋根の一部が破損したため、修理。

### 1999年3～4月：ハーフティンバー部補強工事

以前に行われた構造診断調査において危険箇所とされた建物南東側のあるハーフティンバー(木骨レンガ造部)について、補強工事を実施される。

### 1999年4月：新市長誕生

市長選では赤レンガも大きな争点となり、結果は赤レンガ事業凍結を訴えた酒井市長が当選。

### 1999年6月1日：ライトアップ中止

昨年8月25日から実施してきたライトアップを、事業の見直し及び経費節減の観点等から当分の間中止。



ハーフティンバー部補強工事

## 今後の活動

10月23,24日 赤煉瓦ネットワーク富岡大会

年に一度の全国大会に今年も半田赤レンガ倶楽部から参加します。楽しい&刺激的なこのお祭りにぜひごいっしょに！

11月20,21日 はんだ産業まつり

詳細は未定ですが、生レンガの彫刻や、レンガのお菓子や絵葉書の販売などができればいいと考えています。

〇年〇月〇日 赤レンガ建物にステンドグラス設置！？

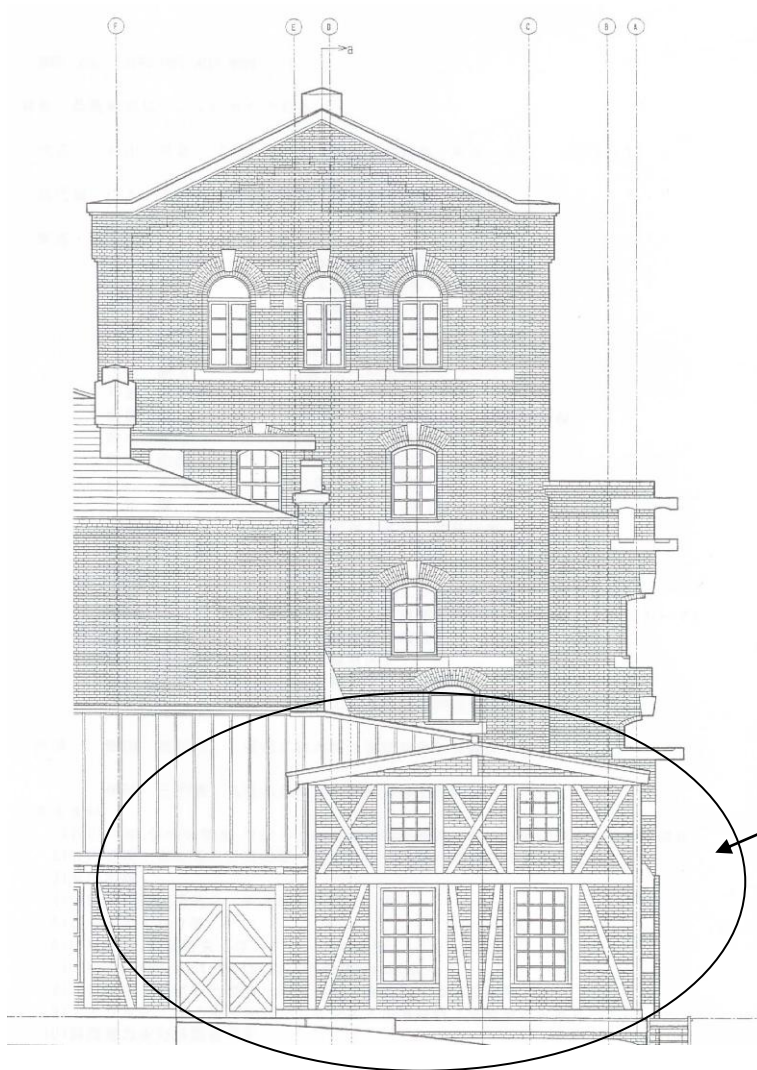
会員のステンドグラス作家がきらきら光るステンドグラスがあつたレンガの建物の窓に入ったら素敵、と提案。いつか実現したい…。

その他、昨年提案したさまざまなアイデアも少しずつ実現していきたいと思います。まずは赤レンガ建物にまつわる思い出を募集。詳しくは次ページを見てください。

---

## 赤レンガ建物おもしろ探検「第2弾」

—竹内尊司—



### ハーフティンバーとは？

木造住宅の様式で、柱、梁、斜材など骨組構造材をそのまま外部に出し、その間の壁体を石材、土壁、あるいは煉瓦で充填したもののイギリスで盛んに行われた方式、ドイツやフランスにもその例が見られます。

この赤レンガ建物では、木造の軸組み（柱、梁）の間に煉瓦を長手方向が見えるように積み上げた方式です。（左図参照）他の煉瓦建築には、鉄の軸組み（柱、梁）の間に煉瓦を積み上げたハーフティンバーもあります。

国内では、官営富岡製糸工場がこの赤レンガと同じハーフティンバー（木骨煉瓦造）の方式を採用しています。

この部分がハーフティンバー



創建当時のカプトビール工場

### カプトビール、丸三麦酒(株)に 関連した資料や思い出話を募集!

旧カプトビール工場で働いていた方々の思い出話や赤レンガ建物にまつわる思い出話を募集いたします。会員の身近にいらっしゃるお年寄りの方で昔働いていた方がいればご紹介ください。また、赤レンガにまつわる資料や品物などがありましたら下記までご連絡ください。

#### 旧カプトビール工場のデータ

竣工：1898年(明治31年)10月31日

基本計画：ゲルマニア機械製作所

実施設計者：妻木頼黄(つまきよりなか)

施工：清水組

規模：地上5階建(高さ約18m)

建築面積：創建時…1,920.44㎡(増築後3,480.58㎡)

延床面積：創建時…4,066.55㎡(増築後6,982.98㎡)

1943年(昭和18年)ビール製造中止

1944年(昭和19年)中島飛行機製作所の資材倉庫になる

1945年(昭和20年)空襲をうける

1948年(昭和23年)日本食品化工(株)の工場となる

1994年(平成6年)工場生産中止

1996年(平成8年)半田市による建物と土地の買収

敷地面積：3,3786.98㎡(約1万坪)

現建築面積：2,826.68㎡

現延床面積：5,456.26㎡

1997年(平成9年)半田赤レンガ倶楽部発足

#### 半田赤レンガ倶楽部の目的

私たち「半田赤レンガ倶楽部」は、半田の産業史のシンボルであり、まちの歴史的ランドマークでもある旧カプトビール工場の赤レンガ建物を保存・活用して、魅力的なまちづくりを進めるために活動する市民グループとして、1997年9月に発足しました。煉瓦という魅力的な素材を切り口に、まちの建物や歴史、産業という暮らしなどに興味を持って、様々な人と交流しながら楽しくまちづくりを進めていこうと考えています。

皆さんの参加をお待ちしています。

発行：半田赤レンガ倶楽部

会長：長谷川寛子

連絡先：〒475-0928

半田市桐ヶ丘3-1-11-3(永田建築設計室)

TEL/FAX：0569-21-5959

e-mail:deguchi@ipc-tokai.or.jp

#### 編集後記

この一年は、赤レンガにとっていろいろなことがありました。中でもものすごく心残りなのは、満百歳の誕生日を盛大にお祝いしてあげられなかったこと…。1998年10月31日当日は大阪で赤レンガネットワークの全国大会にスタッフは参加。まあ、大物の赤レンガ君のこと、少々お祝いが遅れても怒らないだろう、ということで、今年こそ楽しい誕生パーティを開きたいな。

今回の会報も1号よりちょっとパワーダウンしてしまいましたが、継続は力なり、次号は皆さんからのご寄稿も加えて充実させます。ご期待ください。とうとう事務局長スタッフ募集!

半田赤レンガ倶楽部の活動に積極的に参加して下さる元気な方を募集します。

今後の具体的な活動をいっしょに考え、あちこち遊びに行きましょう。上記連絡先まで御一報を!